

差出人: csih@googlegroups.com は 橋本 英樹 <hidekih@wine.plala.or.jp> の代理  
送信日時: 2014年9月11日木曜日 22:37  
宛先: csih@googlegroups.com  
件名: [CSIH] 中部産業遺産研究会 ニュースレター 電子メール版 2014年9月11日発行  
添付ファイル: 第106回例会案内・DVDとHP改訂.pdf; 会報98号パネル展・見学会・岐阜大学・写真.pdf; 第168回大会シンポ会員宛開催案内 (26 9 25.pdf)  
フラグ: フラグあり

//  
/ 中部産業遺産研究会 ニュースレター 電子メール版 2014年9月11日発行 /  
///

中部産業遺産研究会にご参加頂ける方をご紹介します。  
ご参加頂けそうな方には、この電子メール版ニュースレターを配信させていただきますので、  
このメールを返信する形でお知らせ下さい。

【入会案内はこちら】  
<http://csih.sakura.ne.jp/nyuukaiannai.html>

【中部産業遺産研究会のホームページがリニューアルしました】  
<http://csih.sakura.ne.jp/index.html>

【CONTENTS】

- 【1】中部産業遺産研究会・関連団体の行事予定
- 【2】日本鉄鋼協会 第168回講演大会「鉄の技術と歴史」研究フォーラム  
シンポジウム「東海地方における鉄と金属の技術と文化」開催案内【New】
- 【3】GIH会報98号とGIH第106回例会のご案内【New】
- 【4】第130回定例研究会・見学会のご案内と第131回定例研究会・パネル展・講演会のご案内【追記あり】
- 【5】企画展「車のまち とよた 豊田英二の生きた100年」開催のご案内  
／豊田市近代の産業とくらし発見館【再送】
- 【6】「中部産業遺産研究会創立20周年記念誌」印刷版に若干数追加販売が可能です【再送】
- 【7】大人の算数・理科シリーズ：モノづくりの原点 第5回／杉本漢三【New】

---

【1】中部産業遺産研究会・関連団体の行事予定

- 第130回研究会・見学会 2014/09/28(日) 13:00～ 揚輝荘見学・高木備太郎会員案内
- 第131回研究会・パネル展講演会 2014/11/16(日)または次週22～24で調整中  
13:00～ 名古屋都市センター11F・大研修室予定
- 第132回研究会 2015/01/25(日) 13:00～ 開催予定
- 第133回研究会 2015/03/22(日) 13:00～ 開催予定
- 第23回総会・第134回研究会 2015/05/24(日) 13:00～ 開催予定

会場は名古屋都市センターを除き予定です。名城大学名駅サテライトにお願いする予定ですが、大同大学や豊田くらし発見館などに変更する場合があります。

---

## 【2】日本鉄鋼協会 第168回講演大会「鉄の技術と歴史」研究フォーラム シンポジウム「東海地方における鉄と金属の技術と文化」開催案内【New】

---

【添付ファイルをご参照下さい。参加申し込み締め切りは9月16日ですのでご注意ください】

「鉄の技術と歴史」研究フォーラムでは、毎回秋季講演大会が開催される地区に相応しいテーマを選定し、シンポジウムを開催しています。

今回は「東海地方における鉄と金属の技術と文化」と題し、東海地方において考古学的手法によって発掘された製鉄遺跡、関連遺跡の最新の調査・研究成果の発表、更に理工学的側面からこの分野に関する問題点を取り上げ、解明と今後の研究の方向性についての討論を行い、また鉄鋼業を含めた地域産業界が果たした経済・社会的貢献と技術発展の経過を辿り、合わせて地域の関係者と理解と交流を深めることを目指し、下記のごとく興味深い内容のシンポジウムを企画しました。

多くの会員および関心ある皆様をご参加されることを期待しご案内いたします。

1. 日 時 平成26年9月25日(木) 10:00~16:50
2. 会 場 日本鉄鋼協会第168回講演大会第6会場  
名古屋大学 東山キャンパス IB電子情報館中棟1階 IB 014  
(名古屋市千種区不老町)
3. 交 通 JR名古屋駅から市営地下鉄東山線本山駅にて、名城線(右回り)に乗換え、  
名古屋大学駅下車、3番口から直ぐ
4. プログラム(プログラムは変更されることがあります)  
10:00~10:10 開会挨拶 フォーラム座長 板谷 宏  
10:10~10:50 古代近江・美濃・尾張の鉄鉱石製錬遺跡  
滋賀県教育委員会 大道和人  
10:50~11:30 愛知県下の中世集落における鍛冶遺跡の動向  
愛知県埋蔵文化財センター○鈴木正貴 蔭山誠一  
11:30~12:10 中世に生まれた日本の鑄鉄製仏像造立の特徴 大同大学 青山正治  
12:10~13:20 昼食休憩  
13:20~14:10 特別講演 自動車と鉄鋼技術 元愛知製鋼(株) 大橋正昭  
14:10~15:00 招待講演 豊田喜一郎と製鋼技術ー自動車製造事業への  
進出との関連でー 東海学園大学 和田一夫  
15:00~15:20 休憩  
15:20~16:00 日本の電気炉製鋼の黎明期とその後の発展  
大同特殊鋼(株) 久村修三  
16:00~16:40 東海地方の鉄铸件産業を支えた矢作製鉄の電気製鉄炉と  
高炉操業の特徴 愛知大学中部地方産業研究所 天野武弘  
16:40~16:50 閉会挨拶 フォーラム運営委員 黒田光太郎  
17:10~19:10 懇親会(東山キャンパス内: レストラン「花の木」ミーティングルーム)
5. 参 加 費 シンポジウム 2000円、懇親会 3500円 (会場受付にてお支払下さい)
6. 申込方法  
電子メールにて、下記8の佐藤様宛にお申込み下さい。  
(懇親会参加の場合は懇親会参加についてもメールに記載して下さい)
7. 申込締切日 平成26年9月16日(火)
8. 問合せ・連絡先 「鉄の技術と歴史」研究フォーラム幹事 佐藤公昭

---

【3】G I H会報98号とG I H第106回例会のご案内【New】

---

会員の高橋伊佐夫先生より、G I H会報98号とG I H第106回例会の案内を頂きましたので会員の皆様に配信いたします。  
添付ファイルをご参照下さい。

G I H（岐阜産業遺産調査研究会）の例会はどなたでもご参加頂けます。

---

【4】第130回定例研究会・見学会のご案内と第131回定例研究会・パネル展・講演会のご案内【再送】

---

【集合場所の揚輝荘北園前は、覚王山日泰寺の東隣になります】

9月28日に開催の定例研究会（見学会）のご案内を添付ファイルにてご案内いたします。  
28日は、13:00に揚輝荘北園前に集合です。  
最寄り駅は地下鉄東山線の覚王山駅で、1番出口を出て徒歩10分です。  
<http://www.yokiso.jp/images/access/kinnrinmap.pdf>  
当日は高木備太郎会員にご案内頂きます。

なお、参加人数が20名以上になった場合には団体入場料金が適用されて240円になります。  
名古屋市敬老パスをお持ちの方は入場料金が80円になります。お持ちの方はご持参下さい。

揚輝荘のホームページはこちら。  
<http://www.yokiso.jp/>

揚輝荘見学後15:30頃から「水の歴史資料館」の見学をします。  
名古屋市上下水道局の旧東山管理事務所を活用し、上下水道の歴史的に重要な設備・機器類、  
文献、公文書などを収蔵・展示しています。

17時頃に解散の予定です。

また、11月16日の定例研究会・パネル展・講演会の案内も添付いたしました。

詳細は添付ファイルをご参照下さい。

---

【5】企画展「車のまち とよた 豊田英二の生きた100年」開催のご案内  
／豊田市近代の産業とくらし発見館【再送】

---

いつも発見館をご利用して下さる皆様へ

豊田市近代の産業とくらし発見館  
館長 日高 守

企画展「車のまち とよた 豊田英二の生きた100年」開催のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。いつも発見館をご利用いただき、  
厚くお礼申し上げます。このたび当館では、平成26年9月13日（土）～11月30日（日）の期間、  
企画展「車のまち とよた 豊田英二の生きた100年」を開催します。年表と豊田市民から募集した  
「わが家にはじめて来た車」の写真で100年をたどります。また下記の行事も行います。  
是非この期間中に、ご家族・ご友人の方々をお誘いあわせの上、当館へご来館賜りますよう  
ご案内申し上げます。 敬具

【行事のご案内】

①ものづくり体験 「カタパルトで走る車」  
と き：平成26年9月13日（土）～ 午前9時～午後4時30分

内 容：厚紙に車の絵を描いて、カタパルト(発進装置)で走る車を作ります。  
定 員：先着 100 セット (なくなり次第終了) 参加費：50 円

②ギャラリートーク

と き：1 回目・平成 26 年 10 月 11 日 (土)  
2 回目・平成 26 年 10 月 18 日 (土) 各回とも午前 10 時～10 時 30 分  
ところ：発見館 第 2 展示室 申込み：不要 (当日、発見館へ)

③ものづくり講座「鑄造キーホルダー」

と き：10 月 25 日 (土)、26 日 (日) 午後 1 時～3 時  
内 容：低融合金で鑄造キーホルダーを作ります。  
定 員：抽せん各 15 名 参加費：500 円  
申込み：10/7(火) までに往復はがきにて

④「わたしの 100 年・家族の 100 年」を記録してみよう。

内 容：自分史・家族史を書き込める年表を配布します。

⑤その他：自動車のぬりえ、ペーパークラフトなど

追伸 発見館にお越しの際に、メール受信の旨をスタッフにお申し出ください。  
ささやかな記念品をご用意しております。

(問合せ) 豊田市近代の産業とくらし発見館  
〒471-0027 愛知県豊田市喜多町 4-45  
電話 0565-33-0301 FAX 0565-33-0319  
E-mail : hakken@city.toyota.aichi.jp

---

【6】「中部産業遺産研究会創立 20 周年記念誌」印刷版に若干数追加販売が可能です【再送】

---

創立 20 周年記念誌ですが、印刷版に若干数の残部が発生しました。  
そこで会員および非会員の皆様に追加販売をさせて致します。

創立 20 周年記念誌については、お読み頂いた皆様から非常に高いご評価を頂いております。

印刷版については、増刷の予定はございませんので、この機会にぜひご購入ください。

なお、写真がカラーで、検索機能も利用可能な CD-ROM 版については引き続き販売をして  
おりますので、必要な方はぜひご購入ください。  
CD-ROM 版の目次は次のリンクにあります。  
<http://www15.plala.or.jp/hidekih/csih/>

印刷版の購入のお申し込みは天野武弘副会長までお願いいたします。  
amano-ta07@pro.odn.ne.jp

なお、現在、天野副会長がガラ紡のラオスへの技術移転を目的にラオスへの海外出張中  
であることから、8 月末頃までは天野副会長からの連絡がありませんので、その点については  
ご了承ください。

印刷版または CD-ROM 版をお急ぎで必要とされる方がおいでの場合、事務局長の大橋公雄  
先生までご連絡ください。  
ohashi05@ai.wakwak.com

今後、中部産業遺産研究会のホームページから購入頂けるようにする方向で検討をしております。

---

【7】大人の算数・理科シリーズ：モノづくりの原点 第 5 回／杉本漢三【New】

---

## ガウス分布

技術者は、最小二乗法で平均値を計算し、モノづくりは正規分布表に基づき製品を量産化するが、この統計的品質管理もガウス先生のおかげである。アルキメデス、ニュートン、ガウスを数学の三神様という。あの富士山の形をした正規分布図は、「ガウスの分布図」としてドイツの10マルク紙幣にまで載っている。これらを考案したのがドイツ人ガウス(Karl Friedrich Gauss, 1777~1855年)であり、10歳の時に先生が出した「1から100までの自然数をすべて足すといくつになるか」問題を瞬時に解いて大人たちを驚かせた。答えは、 $1+100=101$ 、 $2+99=101$ 、 $3+98=101$ ……で101が50組できるから5050となる。

しかし、それ以前の時代に、確率論に卓越した成果を残したのは、フランスの判事、議員を勤めたアマチュアの王様ことフェルマン(1606~1665年)である。

現代の統計的品質管理においては、ヒストグラムにより異常値の吟味から解析の糸口を見つけることがモノづくりの原点である。学校での5段階成績評価や偏差値も標準偏差の正規分布曲線で計算する。優等生(5)と落ちこぼれ(1)が7%ずつ、大方の平均的な生徒が38%と客観的に割り振るのである。

--



中部産業遺産研究会のニュースレターは電子メールアドレスをお持ちの会員の皆様にGoogleグループのメーリングリストのシステムを使って配信しています。

配信元：中部産業遺産研究会 会報編集委員・広報幹事 橋本 英樹

E-mail : [hidekih@wine.plala.or.jp](mailto:hidekih@wine.plala.or.jp)

Copyright 2002-2014 The Chubu Society For The Industrial Heritage, Allrights reserved.



---

このメールはGoogleグループのグループ「中部産業遺産研究会」の登録者に送られています。このグループから退会し、グループからのメールの配信を停止するには [csih+unsubscribe@googlegroups.com](mailto:csih+unsubscribe@googlegroups.com) にメールを送信してください。

<http://groups.google.com/group/csih> からこのグループにアクセスしてください。

その他のオプションについては、<https://groups.google.com/d/optout> にアクセスしてください。

# GIH第106回研究会ご案内

第106回研究会は下記の内容で行うことにしました。ご参加くださいますようご案内いたします。会員でない方でも気楽に参加していただければありがたいです。

記

日 時 ; 2014年10月11日(土) 午後2時～午後5時

場 所 ; 岐阜市<sup>うつぼや</sup>鞆屋町38「空穂屋」(2階の部屋)

「空穂屋」は、昨年国の文化財に登録された建造物で

第100回例会でお借りした場所です

参加者全員で美味しいコーヒーを飲みながらの例会です

## 1. 「重要文化的景観」シンポジウムに参加して

報告者 大田 博行 会員

重要文化的景観に選定された長良川中流域の文化的景観についてのシンポジウムに参加したことを紹介します。

## 2. 「岐阜の産業遺産」のDVDづくり再検討

提案者 大田 博行 会員

DVDで紹介する産業遺産は何件にするか決まっていないが、産業遺産の紹介は地域別とし、パソコンだけでなく、テレビの画像でも見れるDVDにする条件で、プロジェクターを使って産業遺産を1件毎に表示し、参加者で再検討し、DVD作成の参考にします。

## 3. 「岐阜の産業遺産」HP改訂の検討

提案者 広瀬 泰正 会員

GIHのHPの中で、15年前の1999年に作成した「県内産業遺産」の部分を少しずつ訂正しているが、135件の産業遺産中、廃棄されたモノ、保存場所が移動されたモノ、近代化産業遺産とは云えないモノなどが含まれているので、プロジェクターを使ってそれらの産業遺産を1件毎に表示し、参加者で再検討をし、HP改訂の参考にします。

## 4. 次回第107回の研究会について

日 時 : 2014年12月20日(第3土曜日) 午後2時～午後5時

会 場 : 岐阜県図書館研修室

内 容 : DVD作成とHP改訂について

# G I H 会 報 No. 9 8

(Gifu Industrial Heritage)

岐阜産業遺産調査研究会 2014年9月10日発行

第105回研究会は、予定通り2014年8月23日(土)に岐阜県内の産業遺産見学会として実施したことを報告する。次に当研究会で作った「岐阜の産業遺産」を岐阜県図書館と共催で8枚のパネルで展示したことを紹介する。3つ目に岐阜大学学生の「岐阜の産業遺産」見学状況を紹介する。

## 1. 「大垣の産業遺産」を再調査して

報告 広瀬 泰正・高橋 伊佐夫

8月23日(土)は雨の心配もあったが、予定通り見学会として産業遺産の調査を行った。いろいろな事情で参加出来ないとの連絡があり、2名で取りあえず過去に調査した大垣方面の産業遺産が保存されているのか、無くなっていないか、下記の5件を5時間かけて再調査した。今回の調査で、無くなった産業遺産が2件ありびっくりしたが、新たに産業遺産の存在が発見できて大変よかった。以下にその5件の調査の概略を報告する。

- ①大垣市林町のオーミケンシの自家用火力発電所建物は、4年前の見学会の時にはまだ現存していたが、完全に解体されていた。
- ②大垣市西崎町の日本合成化学工業(株)大垣工場内に保存展示されていた昭和5年ステンレス製円筒形の水化塔(日本初の酢酸製造装置)は今も社内の庭に大切に保存展示されていた。
- ③大垣市室村町の旧鐘紡繊維(株)大垣工場(現：三甲テキスタイル(株))大垣工場に大正3年造られた赤レンガ倉庫が100年経った今も現存し使用されていた。工場内には20年前の見学時に大正11年イギリス製の消防用蒸気ポンプ(蒸気機関で水を送る機械、ウォーシントンポンプ)があった。今回工場を訪問したところ、現在も残っており何時でも使用できる状況に整備しているとの事だった。
- ④大垣市南市橋町に昭和5年頃敷設された西濃鉄道市橋線の廃線が16年前には残されていたが、その後レールと枕木が撤去され、線路跡だけ残っていた。
- ⑤河合石灰工業(株)が大垣市赤坂町の金生山のふもとに明治13建設した土中炉(石灰岩焼成炉)が20年ほど前には現存していたが、なくなっていた。河合石灰乙女坂工場と同様な土中炉が池田町市橋のマルアイ石灰工場にあると、地元の方から教えてもらい、早速マルアイ石灰市橋工場へ行ってみたら、工場の一角に大きな土中炉5基残されていた。市橋工場に勤務されている人の説明では、何時設置されたのかは分からないが、昭和53年頃まで使用していたとのこと。市橋工場の土中炉解体はまだ考えられてはいないとのことでした。現存しない河合石灰の土中炉に変わる新たな貴重な近代化産業遺産の発見だった。

## 2. 岐阜の産業遺産展示会の紹介

G I Hとして初めて岐阜県内に現存する産業遺産の写真パネルを作り、岐阜県図書館2階の「企画展示コーナー」で展示した。展示期間は7月20日(日)から8月30日(土)までの40日間。岐阜県図書館は今年創立80周年となるので、80周年の記念事業の一つとして「岐阜の産業遺産」のパネル展を岐阜産業遺産調査研究会と共催で実施できないかとの依頼が有り、G I Hとして有り難く承諾した。テーマは「岐阜の産業遺産展示会」とし、10枚のパネルでG I H会長あいさつ・図書館館長あいさつ・「産業遺産ってなに？」の説明文、26件の産業遺産を写真で紹介し、産業遺産が保存展示されている場所もパネルで紹介した。紹介した産業遺産は明治時代に作られた東海道線の旧揖斐川橋梁や大正時代に作られた大井ダムなど産業の近代化に貢献した県内の主要な施設や機械装置などです。夏休みの小中学生の自由研究や産業遺産に関心ある人の見学に少しでも役に立てばと期待しての展示会です。展示終了後、県図書館記念事業企画担当者の話しでは、小中学生の見学だけでなく、岐阜県の小中学校社会科職員の会6回目研修会として約40名の教職員が見学され、また各務原市と瑞穂市の国語の教職員も約40名ほど見学されたとのことでした。その事を聞いて、今回のパネル展は一定の成果があったと評価できる。

### パネル展紹介の中日新聞記事 (2014/07/30)

中日新聞 岐阜県版



県内の産業遺産を説明する岐阜  
大地域科学部教授の稲生勝さん  
＝岐阜市宇佐の県図書館で

揖斐川橋梁  
(大垣市)  
は日本でも  
っとも古い  
鉄橋。いず  
れも国の重  
要文化財に  
指定されて  
いる。  
稲生教授  
は「群馬の  
富岡製糸場が世界遺産  
に登録され、産業遺産  
が認知されてきた。夏  
休みにぜひ、岐阜の発  
展を支えたものも知っ

てほしい」と話した。  
入場無料。月曜と毎  
月最終金曜は休館。問  
い合わせは県図書館＝  
電058(275)51  
11へ。(小川慎一)

2014年(平成26年)7月30日(水曜日)

## 岐阜の産業遺産を展示

### 県図書館 明治―昭和初期の26点

明治から昭和初期に  
県内の産業革新を担っ  
た機械や建築物を紹介  
する「岐阜の産業遺産  
展示会」が、岐阜市宇  
佐の県図書館で開かれ  
ている。科学論が専門  
の岐阜大地域科学部の  
稲生勝教授(五七)が会長  
を務める岐阜産業遺産  
調査研究会が図書館と  
共催した。八月三十日  
まで。  
標高三、〇〇〇級  
の北アルプスから海抜  
ゼロ級地域である岐  
阜県。稲生教授による  
と、明治以降の産業  
は、山から流れる川の  
水の利用と、下流の水  
害対策という課題に取  
り組むことで発展して  
きた。そこで、会場で  
は水力発電や水門、鉄  
橋など二十六点の産業  
遺産について写真パネ  
ルで説明している。  
注目の産業遺産は、  
一九一(明治四十四)  
年に木曾川水系で初め  
て設置された八百津発  
電所(八百津町)。ダ  
ムではなく水路の落差



## 図書館に展示されたパネル展の写真



### 3. 岐阜大学学生の産業遺産調査に協力して

今年度から、G I Hとして岐阜大学3年生の必修科目である『地域学実習』のテーマ「産業遺産の調査」に協力することになった。その第1回が2014年7月20日(日)に実施された。学生12人が車3台に相乗りし、鏡岩水源池に保存の旧ポンプ室と旧エンジン室、岐阜の町に初めて電灯を灯した旧水車・発電機、長良川左岸の忠節用水ロボット水門、忠節特種堤と忠節橋、瑞穂市の五六閘門、東海道本線の初代揖斐川橋梁(イギリス製)・2代目のアメリカ製橋梁跡(橋台)・現役の3代目日本国産橋梁、揖斐川町東横山の国道303号線「道の駅」に展示された国産初の縦軸水車、イビデン東横山発電所など10ヵ所を5時間ほどかけて案内し見学した。

### 4. 次回(第106回)研究会について

次回の研究会は2014年10月11日(土)にしました。会場は、第100回時にお世話になった岐阜市鞆屋町の「空穂屋(国の登録文化財)」にしました。内容は別紙第106回案内をご覧ください。

### 5. 研究会での報告依頼について

研究会での新たな産業遺産の報告は最近少なくなりました。研究会で多くの方にご報告頂けることを望んでいます。報告を希望される場合、研究会当日でなく、開催日の一ヶ月前に研究会の案内をつくりますので、一ヶ月程前には「報告テーマとその内容の概要」を事務局までお知らせいただくと有り難いです。また、産業遺産見学のご希望があれば、その見学先もお知らせいただくと助かります。宜しくお願いします。

日本鉄鋼協会 第168回講演大会「鉄の技術と歴史」研究フォーラム  
シンポジウム「東海地方における鉄と金属の技術と文化」開催案内

「鉄の技術と歴史」研究フォーラムでは、毎回秋季講演大会が開催される地区に相応しいテーマを選定し、シンポジウムを開催しています。

今回は「東海地方における鉄と金属の技術と文化」と題し、東海地方において考古学的手法によって発掘された製鉄遺跡、関連遺跡の最新の調査・研究成果の発表、更に理工学的側面からこの分野に関する問題点を取り上げ、解明と今後の研究の方向性のについての討論を行い、また鉄鋼業を含めた地域産業界が果たした経済・社会的貢献と技術発展の経過を辿り、合わせて地域の関係者と理解と交流を深めることを目指し、下記のごとく興味深い内容のシンポジウムを企画しました。多くの会員および関心ある皆様のご参加されることを期待しご案内いたします。

1. 日 時 平成26年9月25日(木) 10:00~16:50
2. 会 場 日本鉄鋼協会第168回講演大会第6会場  
名古屋大学 東山キャンパス IB 電子情報館中棟 1階 IB 014  
(名古屋市千種区不老町)
3. 交 通 JR 名古屋駅から市営地下鉄東山線本山駅にて、名城線(右回り)に乗換え、  
名古屋大学駅下車、3番口から直ぐ
4. プログラム (プログラムは変更されることがあります)
  - 10:00~10:10 開会挨拶 フォーラム座長 板谷 宏
  - 10:10~10:50 古代近江・美濃・尾張の鉄鉱石製錬遺跡  
滋賀県教育委員会 大道和人
  - 10:50~11:30 愛知県下の中世集落における鍛冶遺跡の動向  
愛知県埋蔵文化財センター○鈴木正貴 蔭山誠一
  - 11:30~12:10 中世に生まれた日本の鑄鉄製仏像造立の特徴 大同大学 青山正治
  - 12:10~13:20 昼食休憩
  - 13:20~14:10 特別講演 自動車と鉄鋼技術 元愛知製鋼(株) 大橋正昭
  - 14:10~15:00 招待講演 豊田喜一郎と製鋼技術ー自動車製造事業への  
進出との関連でー 東海学園大学 和田一夫
  - 15:00~15:20 休憩
  - 15:20~16:00 日本の電気炉製鋼の黎明期とその後の発展  
大同特殊鋼(株) 久村修三
  - 16:00~16:40 東海地方の鉄铸件産業を支えた矢作製鉄の電気製鉄炉と  
高炉操業の特徴 愛知大学中部地方産業研究所 天野武弘
  - 16:40~16:50 閉会挨拶 フォーラム運営委員 黒田光太郎

17:10~19:10 懇親会（東山キャンパス内：レストラン「花の木」ミーティングルーム）

5. 参加費 シンポジウム 2000 円、懇親会 3500 円（会場受付にてお支払下さい）

6. 申込方法

1) 添付申込書の場合：必要事項ご記入のうえ、下記8)宛お申込み下さい。

2) メール送信の場合（メールにてご案内の会員）：

返信用紙に必要事項ご記入のうえ送信して下さい。

7. 申込締切日 平成26年9月16日（火）

8. 問合せ・連絡先 「鉄の技術と歴史」研究フォーラム幹事 佐藤公昭

E-Mail:kera\_k\_sato@hb.tp1.jp TEL/FAX:047-443-9208